

皆さん、進級おめでとうございます。1学期の始業式にあたり、校長として初めて、これから皆さんに4つのこととお話しします。

一つ目です。

本日の午後は、入学式が行われます。今年度、本校は、入学定員を320人から240人へと、2クラス分、80人少なくしました。しかし、クラス編制は8クラスのままで、1クラスを30人か31人としました。これは、本校が、4年後の平成31年度に開校する中等教育学校に移行してゆくことに伴うものです。

今年の新入生は、3年後に本校を卒業するまで、一つ下の学年も、二つ下の学年も、入学してきますが、卒業後は、大宮西高生としての後輩は、入って来なくなります。でも、今年の新入生は、そんな特殊な事情が分かっているが、あえて大宮西高校を志願し、入学を決めてくれた新入生です。本校が、昨年5月から、激動の中にあるにもかかわらず、それでも西高で学びたい、西高で大切な高校生活を送りたい、そう考えて、本校への入学を希望してくれた生徒たちなのです。

だからこそ、そんな新入生の気持ちに、少しでも応えてあげたい、これまで以上に、学習するための環境を整えてあげたい、そんなふうに、本校の先生方は考えました。そして、その思いは、教育委員会に通じ、さらに清水市長に届き、全国でもきわめて珍しい、公立普通高校における30人学級の実現となったのです。

二つ目です。

本校はまた、市立高等学校「特色ある学校づくり」計画のもと、グローバル化先進校としての取組を進めています。皆さんが参加する国際交流の推進もその一つです。

本校では毎年夏休みに、1・2年生10名から20名を、オーストラリアのケアンズに派遣し、その旅費の一部として、市から一人あたり3万円から6万円の補助をしてきました。県立の高校や私立の高校に通っている、皆さんの友達に聞いてみれば分かりますが、これはかなり珍しいことで、全国的にも稀なケースです。

しかし、本校の先生方はもう少し欲張りでした。もっと大勢の生徒に、海外での異文化体験をさせたい、そんなふうに先生方は考えました。その気持ちを、教育委員会が、そして市長が、市議会までもが、受け止めてくれました。

今年度、本校の海外研修では、一人あたりの補助金をいっきに10万円にアップします。さらに、実に40人以上の生徒を派遣することができます。もちろん、受け入れるオーストラリア側の事情がありますので、それほど多くの人数をどうやって派遣するか、これから、先生方で検討していきます。

公立高校の実施する海外研修で、これだけの規模の公的援助は、日本中探しても、この大宮西高校だけです。進路を決定する時期を控えた3年生の皆さんには、夏休みの海外研修は難しいかも知れませんが、2年生と新入生にとっては、絶好のチャンスです。ぜひ積極的に参加を考えてもらいたいと思います。

一方で、残念なお知らせもあります。三つ目は、食堂のことについてお話しします。

今の食堂業者さんが、今年の1学期いっぱい、営業をやめることになりました。もと

もと販売する食数も多くなく、採算ラインぎりぎりまで営業してもらっていたわけですが、今後、生徒が減少し、増益が見込めないことから、撤退することになったとのこと。せめて食堂の施設が使える間は続けて欲しかったので、たいへん残念ではありますが、ボランティアではない、企業としての経営方針ですから、やむを得ません。食堂の方々には、夏までは美味しい食事を提供していただき、その間に、お昼ご飯を提供できる別の方法を考えていきます。

この他にも、西高が中等教育学校に移行していくにあたって、皆さんに不自由な思いをさせてしまう場面があるかも知れません。しかし、だからこそ、私たち教職員一同は、これまでと変わらず、いや、これまで以上に、皆さんの夢、希望、目標の実現に向けて、できる限りの支援をしていきたい。西高の先生方は、誰もがそう決意しています。

さて、話はそろそろ終盤です。

3月下旬の新聞各紙に、教職員の異動情報が載りましたので、これまでお世話になった先生方の転勤の情報などに混じって、私の名前を見かけた人もいます。

四つ目、これが今日の私の最後の話です。

私は、さいたま市教育委員会高校教育課から、本校の校長として着任しました。高校教育課は、本校の中等教育学校への改編を計画し、それを進めている部署です。私は、その課長補佐でした。ですから、中等教育学校に関する計画のことは、よく分かっています。

えっ、じゃあ今度の校長は、中等教育学校の準備をするために西高に来たの？！

そう感じる人もいる、いや、そう考える人がほとんどでしょう。

でも、それは違います。私が西高に来たのは、中等教育学校の準備のためではありません。私が西高に来たのは、今ここにいる西高生の皆さんに、このことで1年近くにわたって不安にさせてしまった皆さんに、今よりもっと西高を好きになってもらい、もっと胸を張って、もっと自信に溢れて、西高を卒業して行ってもらうためです。皆さんを精一杯の力で教え導く先生方を全力で支援するためです。

西高の生徒、先生、PTA、OBの皆さんの驚き、不安、嘆き、悲しみ、怒り、そういった様々な思いを、数回の新聞記事でしか知らないような校長ではなく、決して十分ではなかったけれど、そういった皆さんの思いに、1年間、関わってきた私を、教育委員会は、西高の校長に選んだのです。そしてまた、それは私自身の強い願いでもありました。私は、皆さんが今よりも一歩でも前へ、一歩でも高く、進んで行けるように、がんばります。そのために私は、西高に来ました。

もちろん、皆さんの人生においてがんばるのは、皆さん自身です。夢は、皆さん自身の夢です。皆さん自身の希望です。皆さん自身の目標です。調べ、探し、考え、悩み、見つけ、決めるのは皆さん自身です。夢を、希望を、目標を叶えるのは、皆さん自身です。今日から私は、先生方と一丸になって、そんな皆さんの、夢の実現に向かって、全力を尽くします。